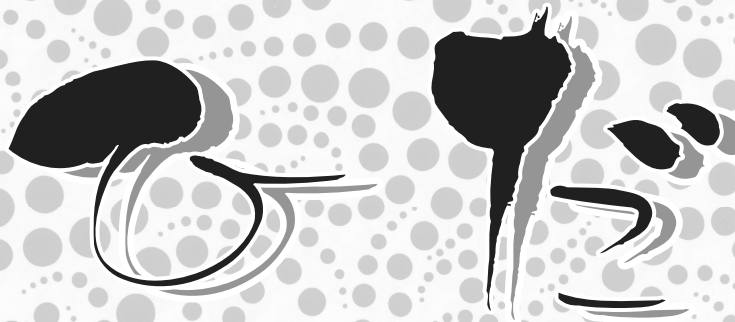


社協だより

福祉



NO.65 平成 25 年 12 月 1 日発行

■発行／飛騨市社会福祉協議会 〒509-4221 飛騨市古川町若宮二丁目1番66号
古川町総合会館内 TEL<0577>73-3214

■URL <http://www.hidasi-syakyo.net/> E-mail : info@hidasi-syakyo.net

飛騨市社協 検索 ←



ひだ守ちゃん



なごみ会によるフラダンス

主な内容

- サロン交流会 2~3
- トピックス.....4~5
- 貸出物品等のご案内.....6~7
- お知らせ.....8
- 相談事業一覧9
- ボランティアセンターだより.....10~11
- 歳末たすけあい募金依頼・寄付御礼.....12



いきいき健康教室

*この機関誌は、赤い羽根共同募金の配分により発行しています。



愛ちゃんと希望くん

サロン交流会

現在、飛騨市内では、登録されているサロンが26団体（登録者623名）あります。こうした方たちが集い、サロン活動の意義や魅力を共有化し、さらなる活動の活性化を図るため、10月31日、古川町総合会館で、サロン交流会を開催しました。

「袈裟丸地区のなごみ会」、「是重地区のいきいき健康教室」の2つのサロンに日頃の活動の発表をしていただきました。「なごみ会」の皆さんには、

おそろいの素敵な衣装で踊りや歌声を披露していただき、「いきいき健康教室」の皆さんには、にぎにぎ体操を披露していただきました。参加された方からは「にぎにぎ体操は自分たちもやってみたい」「衣装をそろえて素敵だった」という声をたくさんいただきました。



あなたの地域にも作りませんか？ ～ふれあいサロン～

Q. 「ふれあいサロン」って何？

A. もともと「サロン」という言葉は、フランス語で応接室とか談話室という部屋を意味する言葉ですが、「ふれあいサロン」は、地域の人々でつくる気軽に集える場、交流の場のことです。定期的に外出し人と会って話をするなかで、健康を維持し人とのつながりをつくり、いきいきと暮らしていくことができると考えられています。どんな人が来ても良いし、何をしなければいけないという決まりはないので、参加者同士で話し合っ、自由に内容を決めることができます。

Q. 誰が進めていくの？

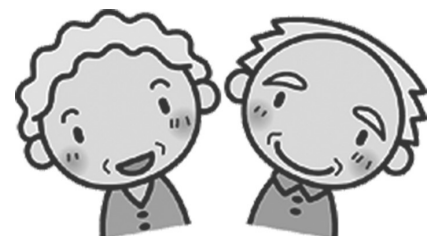
A. サロンの参加者や地域のボランティアなど、サロンに関わる地域の人々が一緒に計画していきます。社会福祉協議会もお手伝いさせていただきます。

Q. サロンでは何をするの？

A. 簡単な体操をしたり、ゲームをしたり、歌を歌ったり、テーマを決めて人の話を聞いたり、何かを作ったり、お茶を飲んだり・・・みんなで楽しい時間を過ごせるように、自由に決めていただきます。

Q. サロンの効果は？

- A. ①楽しみ・生きがい・社会参加ができる。
②仲間づくりができ、人と人との絆が広がる。
③悩みごとの相談や困りごとの発見の場にもなる。
④いろんな情報の交換や提供、共有ができる。
⑤参加者同士で見守りと支え合いができる。
⑥参加することで介護予防や認知症予防にもなる。



Q. 開催するための資金は？

A. 少額ですが、社会福祉協議会から、運営のための助成金を交付しています。また、会費をもらったり、何か特別な行事（昼食会等）の際に、お弁当代を負担してもらったり、それぞれのサロンで決めていきます。

無理せず 楽しく いつまでも～続けるための ふれあい・サロンのポイント

- ◎場所を決める……集まりやすいところ、歩いて来ることができるところにする。地域の公民館や空き家等を利用する。
- ◎日にちを決める……集まりやすい曜日等を決める。（毎月第〇〇曜日、〇〇日というように決めておき、都合が悪い時はその都度調整する。）
- ◎時間を決める……集まりやすい時間帯にする。（1回の時間は2～3時間程度）
- ◎頻度を決める……月に1～2回
- ◎内容を決める……参加者がやりたいことを取り入れる。

◇飛騨市社会福祉協議会が支援します

- ◎安心して活動していただくために、サロン保険への加入手続きを行います。
- ◎充実したサロンを行うために、活動費の助成を行います。
- ◎楽しく続けていくために、サロン交流会や講習会等を開催します。





トピックス



健康と福祉のつどい

11月10日(日)に飛騨市文化交流センターにおいて、飛騨市と共催で「飛騨市健康と福祉のつどい」を開催しました。本年は飛騨市・飛騨市社会福祉協議会合併10周年記念という節目の年になりました。オープニングセレモニーとして増島保育園の園児の皆さんによる和太鼓を披露していただきました。

また、福祉協力校として指定している市内各中学校から選抜された中学生4名の福祉意見発表および、市内各小学校から選抜された小学生6名の福祉標語の掲示を行い、表彰しました。福祉協力校で選抜された福祉意見、福祉標語は次号に掲載させていただきます。福祉講演では森野熊八さんに「もったいないが食育の基本」と題してご講演いただき、料理に対する独自の視点とアイデア、その軽妙な話術で会場内も笑いが絶えませんでした。



神岡小学校 福祉体験

11月14日(木)に神岡小学校で5年生対象の福祉体験学習を行いました。

高齢者疑似体験では、高齢者疑似体験セットを装着していただき、体育館内で階段昇降や、悪路歩行、視野狭くなるゴーグルを着用して、見えやすさ、手の感覚を緩慢にして箸の使用などを体感していただきました。

車いす乗車体験では、車いすに乗車していただき、各都名称や使用方法の説明を受け、悪路を押して進んだり、自分で操作を行うなどの体験していただきました。

このような体験を通して、高齢者等の方の気持ちを少しでも感じることができたのではないかと思います。



カフェワゴン

10月17日(日)、11月13日(木)に鎌村邦子先生にお越しいただき「カフェワゴン」を開催し、ベビーマッサージを教えてくださいました。

ベビーマッサージは、赤ちゃんの体の発達を促し、スキンシップは何よりも、言葉以上に大切なコミュニケーションです。参加された方からは、「マッサージの後、子育て相談ができとてもよかった」「子どもも気持ちよさそうだった」「家でもやってみたい」と話しておられました。ベビーマッサージは、来年2月、3月も開催しますので、たくさんの方の参加をお待ちしています。



イクメンクッキング

11月17日(日)神岡町公民館で、お父さんと子どもさんが一緒に料理をつくる「イクメンクッキング」を開催しました。これは昨年に引き続き、父子のコミュニケーションを深め、お父さんにも楽しみながら育児や家事に参画していただくために開催したもので、料理をつくるのが初めての人も、家でお手伝いをしている人も、飛まわり会の会員さんのアドバイスにより、手際よく短い時間でピーマンのカレーつくね焼きなど4品をつくりました。会食時にはお母さんや兄弟姉妹も参加して、普段とは一味違った料理を感想等を語り合いながら味わっていました。12月1日(日)は古川町総合会館でも開催します。



イベント募金

宮川町文化祭 河合町文化祭

10月1日から赤い羽根共同募金運動が展開されており、12月1日から歳末たすけあい募金運動が始まります。

この募金運動の一環として、10月27日(日)に宮川町文化祭において宮川地区民生委員児童委員協議会によるイベント募金を行いました。

また、11月3日(日)には河合町文化祭において河合地区民生委員児童委員協議会によるイベント募金が行われ、どちらの地区でも文化祭を訪れた方々に多くの温かい募金をいただきました。

皆様からの貴重な浄財は、県内の福祉施設や福祉事業、社会福祉協議会の事業に活用させていただきます。温かいご協力をありがとうございました。



宮川町イベント募金



河合町イベント募金

古川地区 高齢者宅防火点検

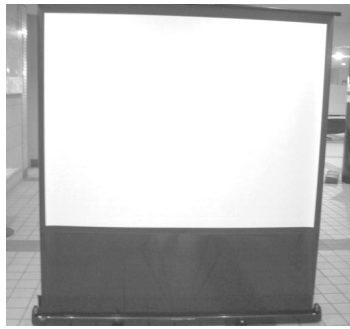
11月12日(火)秋の火災予防運動週間に合わせて、飛騨市消防本部、中部電力株式会社高山営業所、岐阜県プロパンガス協会飛騨支部南古城ブロック、古川地区民生委員児童委員協議会の皆様にご協力いただき、今年は8区から17区の25軒の高齢者のみで暮らしておられる世帯を対象に防火点検を行いました。寒くなる季節の前に、ストーブやこたつなどの暖房器具やガス器具の周辺、配電盤などをプロの方々を目で点検していただき、「いろいろ点検してもらい安心です」「普段から気になっていたことを相談できてよかったです」と話されていました。



古川西小学校出前講座

11月19日(火)に古川西小学校4年生を対象に、「末広はり灸マッサージ治療院」を営んでいる小林福一さんの講演を行いました。小林さんは幼い時に病気で目が見えなくなりましたが、そのいきさつや、普段の生活の様子、趣味や旅行のお話をしてくださりました。また、日常生活で使用している、音声で時間を知らせる時計や、色を判別する機械などを紹介していただきました。小林さんは「決してあきらめないこと、努力すれば必ず報われる」と話され、児童の皆さんは真剣な表情で耳を傾けていました。





■スクリーン

持ち運びが簡単にできるプロジェクター用のスクリーンです。



■室内グラウンドゴルフセット

室内で使用するグラウンドゴルフセットです。建物に傷がつかないように、ボール等に工夫がしてあります。



■巨大ジェンガ

カラフルで大きいジェンガです。色のサイコロをころがし、その色のブロックを抜いて一番上に積みます。



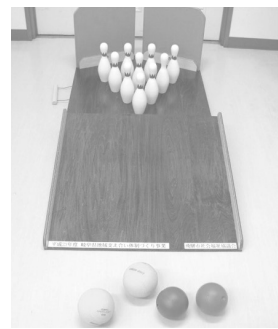
■ベルハーモニー

音ごとに色がついていてハンドベルです。見た目にも可愛らしく、気軽に楽しむことができます。



■ととあわせ (32枚×2種)

魚に関係のある漢字と色とりどりの千代紙・色紙の切り絵で表現された、絵合わせです。かるたや神経衰弱をして遊べます。



■友遊・ボウリング (ピン10本、ボール2種各2個)

倒れたピンを簡単に元に戻せます。ピンが乗っている台と傾斜台に分かれており、ピンを倒す時の迫力があります。



■釣りっこ (竿6本、魚15匹)

竿のフックを魚に引っかけて釣ります。木で出来ており、竿がしなるので臨場感があります。



■サウンドフープ (5本)×4セット

ヤマハが開発した音の出る発泡チューブで覆われたフープです。自由に曲げたりつなげて、体操や遊ぶことができます。

■みんなで元気体操 (DVD38分・リズムパト2本)



楽しんで老化の防止ができるよう、おなじみの童謡などで歌いながらも体が動かせるように収録されています。

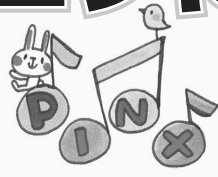
■藤山寛美ビデオ

十快笑(10巻)、新十快笑(10巻)、特選笑(5巻)



松竹新喜劇の大家藤山寛美の傑作集。あの名演技を再びビデオで見ることができます。

カフェワゴンにいらっしやい



<講師> **ピंक ス**

ピंक スと歌って踊って楽しみませんか?

子育て中の方、今から子育てされる方、子育てに関心のある方ならどなたでも参加できます。

日 時 12月9日(月)

午前10時～午前11時30分

場 所 古川町総合会館 (大会議室)

内 容 ピंक スによるクリスマスミニコンサート
コンサートは、午前10時から40分間です。

参加費 100円(親子1組)



あんきねつと神岡 有償ボランティア募集中!

高齢者等のお宅の支援を有償ボランティアとして活動してみませんか?

<実施内容>

飛騨市社会福祉協議会で有償ボランティアを登録組織化し、神岡地区内の高齢社宅等へニーズに合わせて派遣し支援する事業を実施しています。

有償ボランティアは、支援を行った時間に合わせて利用者からチケットを受け取ります。受け取ったチケットは4枚1組で神岡町内で使用できる商品券と引き換えることができます。

空いた時間を利用して地域の支援をしてみませんか。

<募集条件>

18歳以上(高校生除く)で神岡町に在住の方

社協へ登録していただき、利用者からニーズがあった際に社協で時間を調整し活動していただけます。詳細は飛騨市社会福祉協議会神岡支所までお問い合わせください。

お申し込み
お問い合わせ

飛騨市社会福祉協議会 神岡支所
TEL0578-82-3755

各種相談事業等の予定

古川町・河合町
宮川町・神岡町

	日付	事業名	時間	場所
12月	10日(火)	心配ごと相談	10:00~12:00	ハートピア古川
	11日(水)	心配ごと相談	19:00~21:00	河合町公民館
	12日(木)	無料法律相談	13:30~16:30	神岡町ふれあいセンター(大島)
	13日(金)	心配ごと相談	18:00~20:00	神岡振興事務所
	22日(日)	心配ごと相談	10:00~12:00	神岡振興事務所
	25日(水)	心配ごと相談	13:30~15:30	ハートピア古川

	日付	事業名	時間	場所
1月	10日(金)	心配ごと相談	10:00~12:00	ハートピア古川
		心配ごと相談	18:00~20:00	神岡振興事務所
	16日(木)	無料法律相談	13:30~16:30	ハートピア古川
	17日(金)	心配ごと相談	13:00~15:00	宮川保健センター
	25日(土)	心配ごと相談	13:30~15:30	ハートピア古川
	26日(日)	心配ごと相談	10:00~12:00	神岡振興事務所

■無料法律相談(要予約)

法的な悩み、トラブルなどをご相談いただけます。同じ相談内容は1人2回までとします。1日の相談受付は6名まで、事前に予約が必要です。下記までお申し込み下さい。(法的な問題の内容や相手先によってはお断りする場合があります。)

■心配ごと相談

日ごろの悩み、近所トラブル、どこに相談していいかわからないことなどをご相談いただけます。相談員は、民生児童委員、行政相談委員、人権擁護委員で、予約は不要です。どの地区の相談所でもご利用いただけます。

■であい・サポートセンター

定期的な相談日を設けず、その都度コーディネーターが相談に対応いたします。「結婚をしたいけど、出会いがない」「今年こそは……」とお考えの方は是非ご相談下さい。後日、面談日とお時間を決定させていただきます。(直通携帯電話 080-2666-4053)

ご予約
お問い合わせ

飛騨市社会福祉協議会(古川町総合会館内)
TEL 0577-73-3214

飛騨市ボランティアセンターだより

ひだボラ

チェアスキーボランティア講座

障がいのある方にもスキーを楽しんでいただくために、そのお手伝いをしてくださるボランティアを募集し、チェアスキーボランティア講座を開催いたします。スキーが得意な方、スキーが好きな方、チェアスキーに興味がある方、一緒にチェアスキーの操作をしてみませんか？

<会場>

緑風リゾートひだ流葉

<日時>

1月18日(土) 9:00~12:00

*参加費は無料ですが、スキーウェア、スキー等は各自でご準備ください。リフト代は当協議会で負担します。当日は会場集合・解散となります。申し込み多数の場合は、時間を調整させていただく場合もあります。受講者にはチェアスキーボランティアとして登録をお願いいたします。

『チェアスキー』ってなあに？

身体に障がいのある方が座ってすべることができるスキーです。一本の板(モノスキー)の上にはイスがついているものと、二本の板(バイスキー)の上にはイスがついているものがあります。通常はアウトリガーという小さな板の付いたストックを使用して滑走を楽しみます。

『チェアスキーボランティア』ってなあに？

障がいのある方等が自分で操作できない場合に、補助バーが付いているチェアスキーを操作して一緒に滑走行したり、リフトの乗降をお手伝いしていただきます。操作方法がわからない人に教えていただくこともあります。



1月10日(金)までに飛騨市社会福祉協議会へお申し込みください。

<お問い合わせ 及び お申し込み先> **TEL0577-73-3214**

ランチボックス会員募集

ランチボックスでは、年に17回程、総合会館で調理ボランティアの方が作ったお弁当を古川町内の給食サービスを利用者宅へ配達しています。特別な資格は必要ありません。私達と一緒に弁当の配達をしながら、高齢者への声掛けを行ってみませんか。

詳細につきましては、社会福祉協議会事務局 TEL73-3214までお問い合わせください。



ボランティア行事用保険

地域福祉活動やボランティア活動の ケガや賠償責任を補償します

<対象となる行事>

地域福祉活動やボランティア活動の一環として日本国内で行われる各種行事
※詳細はお問合せください。

<補償期間>

行事開催期間(加入手続完了日の翌日午前0時以降の行事開催日から補償されます。)



<補償金額・保険料>

保険の種類		補償内容	Aプラン
ケガの補償	死亡保険金	500万円	A 1 行事
	後遺障害保険金	500万円(限度額)	1日28円
	入院保険金日額	3,500円	*最低保険料 560円
	手術保険金	手術の種類に応じて入院保険日額の10倍・20倍・40倍	*最低加入人数 20名
	通院保険金日額	2,200円	A 2 行事
賠償責任の補償	対人事故	1名・1事故2億円(限度額)	1日126円
	対物事故	1事故1,000万円(限度額)	*最低保険料 2,520円
			*最低加入人数 20名

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会
取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス
引受幹事保険会社 日本興亜損害保険株式会社

※詳細につきましては下記までお問い合わせください。パンフレットもございます。

お申し込み
お問い合わせ

飛騨市ボランティアセンター

(飛騨市社会福祉協議会) TEL0577-73-3214

歳末たすけあい募金にご協力お願いします

「みんなでささえあうあったかい地域づくり」

<期間> 12月1日～12月31日

平成25年度 飛騨市の目標額

3,878,000円

(平成24年度募金総額 3,878,986円)



歳末たすけあい運動は、新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、住民の参加や理解を得て実施する運動です。飛騨市内では、母子父子世帯、障がい児・者と同居の世帯等への激励金の配布や、地域の福祉事業などに充てられます。

本年も、12月に、市内各地で民生委員児童委員等による街頭募金及び個別募金を展開します。皆様の温かいご協力をお願いいたします。

お問い合わせ先

岐阜県共同募金会飛騨市支会

(飛騨市社会福祉協議会内) TEL0577-73-3214



飛騨古川盆おどり同好会様では、9月7日に「大きな輪になろうチャリティー盆おどり」をまつり広場二帯で開催され、参加者からいただいた善意の募金を、本会の障がい者福祉に活用してほしいと、ご寄付いただきました。ありがとうございました。

100,000円

匿名 (神岡町)

26,980円

飛騨古川盆おどり同好会 (古川町)

(平成25年10月23日～11月22日受付分)

に活用させていただきます。

した尊い浄財は、地域福祉の為に有効

いただきありがとうございます。頂戴

飛騨市社会福祉協議会にご寄付い

寄付御礼



ありがとうございました。

このぞうきんは小中高校の児童・生徒が、アイデアと使いやすさを考えて作られたぞうきんを応募されました。この大切に作られたぞうきんは給食サービス等のボランティア活動で使用させていただきます。

100枚を寄贈していただきました。

やってみよう実行委員会(実行委員長 竹本紀美子様) 主催による「第8回子どもぞうきんコンテスト」に応募されたぞうきん約

ぞうきんをいただきました